

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和2年1月15日 午後7時00分から午後9時00分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、大草ひろみ副会長、荻原和雄委員、掛川晴一委員、金井修一委員、金子るり子委員、小山ひとみ委員、櫻井照子委員、桜井保子委員、城下晃代委員、鈴木三千夫委員、高橋みち子委員、滝沢友子委員、馬場美穂子委員、廣田百合子委員、山岸誠委員 【欠席委員4名】
5 市側出席者	石井地域自治センター長、金子地域振興課長、宮越教育事務所長、佐藤市民サービス課長、小山業務係長、深井看護師長、滝沢産業建設課長、宮下商工観光係長、芳池丸子・武石上下水道課長 坂部地域政策担当係長、依田地域担当、掛川主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年3月10日
協 議 事 項 等	

1 開会(大草副会長)
2 あいさつ(池内会長)
3 報告・協議事項
(1) 武石診療所の現状について
・ 武石診療所の概要、平成30年度の外来患者の内訳、外来患者数の推移、経営状況や基金の状況、診療所のあり方の検討について市民サービス課から説明
【質問・意見等】
(委員) 外来患者の年齢層はどうなっているか。
(市民サービス課) 加入保険別の割合でみると後期高齢者医療保険が57%であるため、75歳以上が約6割という状況である。残り約4割についてのデータはないが、予防接種等で子どもや若い世代も来ているため、それほど年代で偏りはないと感じている。
(委員) 昨年度も武石診療所の現状について説明をいただいたが、診療所の今後のあり方の検討について昨年と全く同じ内容になっている。昨年のあり方の検討内容から成果や進捗状況などを付け加えた方がよいのではないか。
(市民サービス課) 来月、あり方検討会を計画しており、意見を聞く予定である。いただいた貴重な意見を資料にも記していきたい。
(2) 指定管理施設「雲溪荘」について
・ 岳の湯温泉雲溪荘のあり方についての住民説明会とアンケートの実施について産業建設課から説明
【質問・意見等】
(委員) 雲溪荘の料金はよく見るが、料理の写真は見たことがない。パンフレットなどがあればよい。
(産業建設課) ホームページには料理の写真が載っている。ただし、宿泊プランのみで日帰りの食事メニューは載っていないかもしれない。
(委員) 自治センターだより2ページで説明の内容は盛り込めるのか。また、利用促進や経営改善のための目標値はすでに設定されているのか。
(産業建設課) 自治センターだよりには概略を掲載する予定。目標値は、市と上田市地域振興事業団で設定しているが、公表はしていない。災害の影響もあり設定値に追いつかない状況であり、公表するには設定値の見直しも必要になっている。

- (委員) 1年半後には、再度雲溪荘のあり方を問うアンケートを行う予定であると思う。ありのままの現在の情報を出していけばよいのではないか。
- (産業建設課) 実績についてはありのままのデータを公表するが、目標値については現実的な数字として再度精査する必要がある。
- (委員) 日帰り利用については利益が少ないとの話であったが、利用者数が増えれば存続の証拠にはなる。収支の鍵になる宿泊利用者を増やすため、JR など企業とのタイアップなど取組策の検討が必要という意見も昨年の協議で出ていた。地域住民の利用促進プラス全体的に底上げする施策を示した方がよい。
- (委員) アンケートは何人程度を予定しているのか。
- (産業建設課) 統計担当と人数についても相談しながら実施したいと考えている。
- (委員) 雲溪荘へ行く市道小沢根線は、いつ復旧する予定なのか。それによっても利用客数が変わってくるのではないか。
- (産業建設課) 市道小沢根線については、現在、国の査定中である。査定が終われば発注は今年度になるが、工事は来年度以降になる。来年度中に完了予定である。
- (3) 第二次上田市総合計画 後期まちづくり計画策定に伴う「地域の特性と発展の方向性」の見直しについて
- ・前回の協議会での意見を踏まえて変更した「地域の特性と発展の方向性」について、各担当課長から説明
- 【質問・意見等】
- (委員) 地域の特性に「松茸の宝庫の山々」とあるが、発展の方向性には森林関係の記載が全くない。松刈れの関係など載せた方がよいのではないか。
- (産業建設課) 森林の関係は本庁が担当している。武石地域では取組ができないため、あえて文言を外したのでご了承いただきたい。
- (会長) 松枯れについては市として取り組んでいるとのことだが、地元においても取組が見えてこない。
- (委員) 取組の方向性「活力ある農林業の推進と商工業の振興」の中に「計画的な農業施設の整備」とあるが、具体的には何の施設のことか。
- (産業建設課) 農業施設とは、ハウスや水路、頭首工などのことで、既存制度を活用した整備のことである。
- (委員) 「活力ある農林業の推進と商工業の振興」の今後の地域のまちづくりの方向性を考えるうえでの課題・新たな視点の中に「農業用施設に関する事業実施については、施設の統廃合等も検討する」とあるが、何の施設のことか。
- (産業建設課) 頭首工や水路などのこと。今後そうした施設が老朽化してきた場合に、ひとつの施設でまかなえるよう統廃合等を検討するということである。
- (委員) 発展の方向性にある「公共交通と地域医療を維持し、誰もが住みやすい安心で快適に暮らせる地域を目指す」は、前回協議会の資料と比較してすっきりしているが、その理由は。
- (地域振興課) 文言を整理し、わかりやすい表現にした。
- (委員) 取組の方向性「地域に根ざした医療、保険、福祉、介護、子育て支援の充実」の中に支え合いマップの活用についてふれているが、現在のマップは実行性があるのか。前回も意見したが、形として整っているだけでなく、実行性のあるものにしていかなければいけない。
- (委員) 「特定健診で得られた健康状態を住民団体と共有する」とはどういうことか。
- (市民サービス課) 特定健診や人間ドックのデータを健康センターで持っているため、健康状態のデータ

を分析し、健康推進委員会や更生保護女性会、必要があれば住みよい武石をつくる会とデータを共有し、課題解決に向けた健康づくりの施策を推進するということである。支え合いマップについては、前回もご意見をいただいた。マップ更新も3年間行われておらず、令和2年度の見直しについて係内で検討している。その際は自治会長や民生委員にも周知し協力をお願いしていくことになる。

(委員) 支え合いマップのリストの記載項目を実効性のあるものに見直した方がよい。連絡先は、自宅だけでなく携帯電話番号も入れるなど。また、サポートが必要な事由欄への病名の記載等をどう扱えばよいのか、民生委員会で話し合っただけであればと思う。

(市民サービス課) 連絡先については、昼間連絡の取れる番号の記載について整理していきたい。

(委員) 支え合いマップを見たことがなく、知らない。

(委員) 支え合いマップは、自治会長が持っている。サポートする人とサポートが必要な人が記載されており、お互いに了承している。サポートが必要な人は申請を行っている。

(会長) 次回、最終的な確認ということでよいか。

(地域振興課長) 次回、成案をお示しし、よければその内容で市に提出することになる。

(4) その他

・武石地域全域公園化構想について

(会長) 武石地域全域公園化構想については、平成22年当時、地域協議会が中心となって進めており、今期の課題の一つにも挙がっていたが、先送りになっていた。今回、後期まちづくり計画の見直しもあったことから、改めて地域協議会として方向性を出す時期に来ていると考えている。12月には地域協議会・自治会・住みよい武石をつくる会と市の四者による第1回目の合同会議が開催された。3月まで四者による協議が行われる予定であり、地域協議会としては新たな提言書をまとめていきたいと考えている。1月末の第2回目の四者合同会議で今後の方向性についての検証を行い、その内容を踏まえ提言書(案)をまとめ、地域協議会で内容を検証していただきたいと考えているので、お願いしたい。

・次期地域協議会の定数について

(地域振興課) 4月から第8期の地域協議会が始まるが、委員の選考をお願いする時期に来ている。次期の定数についてどうするかご意見があればお願いしたい。

(会長) 選出団体から何かご意見があれば、お願いしたい。選出母体があれば、その母体の意向を確認した方がよい。

(委員) 団体の会員が減ってきているので、地域協議会の委員から手を引いてもよいのではないかという意見も出ているが、この場で表明はできない。

(会長) 地域協議会には、地域の課題を調査研究し、市に提言していくという役割がある。さまざまな分野から選出されており、それぞれ選出の背景も意識して団体としての意向を考えていただきたい。

(事務局) 事務局から改めて団体へ選出依頼の通知をさせていただく。

・第10回地域協議会の日程について

日時：2月19日(水)午後7時～

・まちづくり講演会「3.11を学びに変える」 特別講師 佐藤敏郎氏

日時：1月31日(日)午後1時30～ 場所：上田文化会館

- ・上田市防災講座「水害対策で市民が取り組めること」 講師 横田能洋氏
日時：2月9日（日）午後1時30分～ 場所：上田市文化会館ホール

- ・その他

（委員）台風の際に出た武石川の流木はどうなるのか。

（産業建設課）武石川は一級河川のため、長野県の所管になるが流木の撤去は未定とのこと。

4 閉 会（大草副会長）